膀胱炎

ホメ＆漢方薬＆液体ハーブ
改善レポート

日本ホメオパシーセンター沖縄読谷
池原悦子

@JPHMA&E.Ikehara

私の体験談
病院？
他のでやってみる？！

初めて発症した約２年前（2023年）は抗生物質治療。以下の家庭事情があった。

理由①膀胱炎初体験でかなり痛みがあった。

理由②母（高齢）と同居。自然療法は時間をかけて改善して行くので、母の世話に支障が出るのでは・・・。

理由③母は病院治療優先者、私の妹は医療従事者で、いろいろ言われる事が面倒。

今回は以前より症状が軽く、母と妹に勘繰られず実践できそう。自分の体でどうなるのかやってみたいと思った。

ホメオパシー、漢方薬、リキッドハーブを使い約2か月かけて改善したケース。

主訴（状況）

私自身・６０代・女性

●2025年6/17（火）頃から違和感。

●6/21（土）頃から排尿時に痛みとまとわりつく変な快感。

●少ない尿量

●椅子に座る（圧迫）で尿意が遠のく事を発見。

●尿意が出ると数秒も我慢できない。尿漏れ数回。

補足：腎臓の弱さ（腎結石）、肝臓（脂肪肝）あり。

私の場合だけかも知れないが･･･
排尿時の痛みにプラス変な快感（性的な快感）のようなものが細く併走する感じある。
それは排尿の最後の時起こる。
その時は「あ―」とか「う―ん」とか声が思わず出る。
声を出すと痛みが抜けてくれる。
痛み事体は無くならないが。

―私談（痛みの最中、快感とは･･･と毎回トイレで笑ってしまう）

タイムライン

胎児～出産・乳児

穏やかな家庭育ちの母、嫁ぎ先がスパルタ環境で休まる暇がなかった。自然分娩、母乳と粉ミルク。父は機関士（船）のため普段家に居ず。母曰く「夫が居ない方が楽、姑との方が付きやすかった」。5人きょうだいの一番上で長女。

幼少期～小学生

予防接種は殆ど接種。きょうだい揃って風邪をひきやすい。中耳炎になりやすく、車やバスで必ず車酔い、酷い時は吐く。幼稚園頃からぽっちゃりし始めて肥満児に。1年生から家事手伝い、土日は父の手伝い（大工）で友だちと遊ぶ時間が殆ど無く、土日祝祭日・夏冬春休みが無ければと思う。 2年生の頃視力が悪かったが山を見たり食事で改善。要領が悪く父に怒鳴られ殴られ萎縮。その腹いせに妹弟たちをいじめるようになる。6年生2月初潮。

中学生～高校生

中学はバスケ部、高校は英会話クラブ。土日部活で父の手伝いが減り快適に。生理痛ひどい。

@JPHMA&E.Ikehara

タイムライン

20代〜30代半ば（結婚前）

高校卒業と同時に進学上京。実家を出られて良かったが生き辛さは続き、東京に馴染むまで10年以上かかった。生理痛は次第にひどくなって行く。体調を崩し33歳頃、実家に戻り、約1年寝たり起きたりの生活。

35歳（結婚）〜出産、育児

36歳初産、自然分娩。妊婦の間、体調不良で寝たり起きたりの生活だったが穏やかな妊婦時代。「36歳初産で6時間出産は安産」と先生に言われたが、体力が著しく低下し這って移動。育児で手をあげる事はしなかったが（自分が父にされていた）、暴力的な言動と振る舞いで子供を萎縮させ神経質にしてしまった。慢性的疲労が続き、月1回点滴。39歳頃、髄膜炎で入院。結婚後、生理痛は楽になった。育児の辛さ、親戚付き合いが出来なくなり（鬱）数年引きこもる。

タイムライン

40代

第二子が欲しかったが心療内科から出ていた向精神薬（デパケンR)を飲んでおり1年間は妊活保留。体調不良、体の弱さを改善させたく自然療法をスタートさせ、42歳ホメオパシー学校入学。43〜44歳頃生理が止まり物凄く後悔、立ち直るまで10年を要した。

50代〜現在（60歳）

腎結石で3回入院（一度は救急搬送）。52歳（2017年）、実家のお家騒動勃発、翌年裁判。54歳（2019年）から母をグループホームから我が家へ。母とのぶつかり合いで体を悪化させた。55歳（2020年）、父死去、遺産関連事務処理＆管理（現在続行）。50代前半、足から浮腫みが出始め、現在（60歳）では腕と手指にも。55歳、原発閉塞隅角緑内障に移行する可能性が高い事が分かり（20年以上前から見え方に違和感）、危険回避として両目白内障手術。50代後半の1月深夜、猛烈な頭痛で救急搬送。小さな脳溢血が数か所ある（古いもの）事が分かった。

手法：ホメオパシー以外も使用

療法	方法	備考
ホメオパシー療法	ＴＢＲは使わず膀胱炎の一般的レメディーを使用	粒レメディー
漢方薬	ツムラ猪苓湯エキス顆粒	以前クリニックから処方残り
液体ハーブ	Eclectic Herb（エクレクティックハーブ）のリキッドヒドラスチス	英語名：ゴールデンシール

時間がない（家事、母のお世話等）、自分の体力・気力の弱さ等からTBR（ボウニン・ハウンゼンのレパトラゼーション）は使わず、手元の粒レメディーを使用。漢方薬も以前、かかりつけのクリニックから処方してもらったものを使用。リキッドヒドラスチス（ゴールデンシール）は日本では買えないので個人輸入で。

ホメオパシー療法

●Canth.（カンサリス）30C

膀胱炎のナンバーワンレメディー。緊急な尿意が頻繁にあるが、排尿時代は少量しか出ない。排尿時に焼けるようなひどい痛み（私の場合は上記参照）。

●Apis.（エイピス）30C

水分の分泌閉止状態／忙しい

●Puls.（ポースティーラ）30C

めそめそしている

●Staph.（スタッフサグリア）30C

排尿が困難な膀胱炎／閉じ込めた怒りから膀胱炎が発症／排尿後に痛みが緩和する

@JPHMA&E.Ikehara

漢方薬

●ツムラ猪苓湯エキス顆粒（以前クリニックから処方されたもの）

残尿感／排尿痛／腰以下の浮腫／腎石症

液体ハーブ

ECLECTIC HERB（エクレクティックハーブ）のリキッドヒドラスチス

●ハイドラスティスの大特徴は肝臓、解毒。しかしそれだけでない事が母の症状改善で知る事に。以下の効果が認められている。

●強い苦み成分は、胃腸や胆嚢を刺激し食欲増進や消化能力を高める働き。胃腸の蠕動運動を改善するため、下痢と便秘、どちらの症状も改善。

●胆嚢や胃腸機能を高める働きから、湿疹など皮膚の疾患にも効果がある。傷などには直接塗布できるように軟膏に使われる事もある。

●粘液が乾燥している時には、粘液の分泌を高め、逆に鼻水、痰などが多い時には、粘液の分泌を制限してくれる。喉の乾燥、慢性的な痰、蓄膿、喉や気管支の炎症、胃腸の炎症や潰瘍などに効果的。但し、風邪の初期段階で粘液の分泌を制限すると回復に時間がかかる事になるので注意する。

●成分のベルベリンは、直接菌と接触することで、殺菌効果を発揮する。服用する事で、カンジダ菌の治療に役立つ。尿路感染症にも良い。

@JPHMA&E.Ikehara

飲み方
とり方

●ひどい時期

Canth.（カンサリス）30C、Apis.（エイピス）30Cを１日に何回も。ツムラ猪苓湯エキス顆粒は１日３回、リキッドヒドラスチスは１日数回。

↓

●少し改善してきた時期

Canth.（カンサリス）30C、Apis.（エイピス）30Cを１日数回。その時々によってPuls.（ポースティーラ）30Cをたまに、Staph.（スタッフサグリア）30Cは１回取った。

ツムラ猪苓湯は１日２回、リキッドヒドラスチスは１日数回。ただし、食事の仕方により悪化する時は、ひどい時期のとり方に変えた。

@JPHMA&E.Ikehara

飲み方
とり方

●だいぶ良くなってきた時期

Canth.（カンサリス）30C、Apis.（エイピス）30Cを１日1～３回。

ツムラ猪苓湯は１日１回。

リキッドヒドラスチスは１日１回。

＊上記以外に、体が辛い時は適宜にテッシュソルト（ミネラルレメディー）を粒で取っていた。

＊毎朝青汁（粉）に液）サポート免疫スーパーグレート数滴＋豆乳＋オーツミルクを飲んでいた。

@JPHMA&E.Ikehara

結果＆考察

●症状が悪化した食品として、白砂糖系のお菓子や飲み物、コーヒー（デカフェでも）。体を冷やす食品は避ける。黒砂糖（加工糖でない）での悪化なし。（余談：去年10月、初めて豊受米を食した。食して約1か月半経過した頃、浮腫みが改善し驚いた。食は大事、医食同源。）

●Canth.（カンサリス）を初めてとった途端、急激な尿意＝好転反応。保留していた症状を後押し（排泄の促し）したと思う。

●漢方薬：レメディーや液体ハーブのような手ごたえは無かったが、飲んだ方が体が楽だったので続けた。

●リキッドヒドラスチスは私のように腎臓肝臓に弱さのある人にはレメディー同様に大きな効果を感じた。飲むと症状が楽に。

私の免疫や体力ゆえ改善には2か月かかったが、体や臓器をケア、滋養していくホメオパシーや他療法を併用する事は安全で体に優しく効果を感じた。